

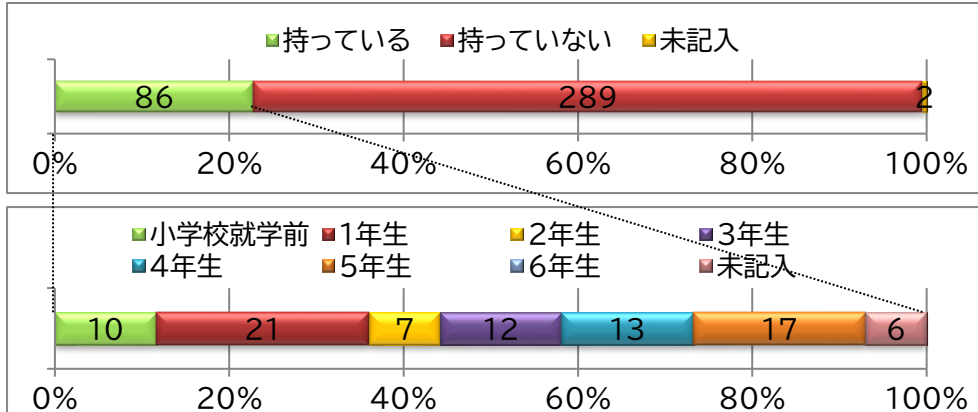
インターネット利用に関する実態調査【小学生保護者対象】結果（抜粋）

- 1 実施時期:令和3年11月～12月
- 2 対 象:町立小学校保護者
- 3 調査方法:-googleフォームまたはアンケート調査票(マークシート)
- 4 回 答 数:377件 (方法別内訳:googleフォーム208件 調査票169件)



ご協力いただき
ありがとうございます
ございました

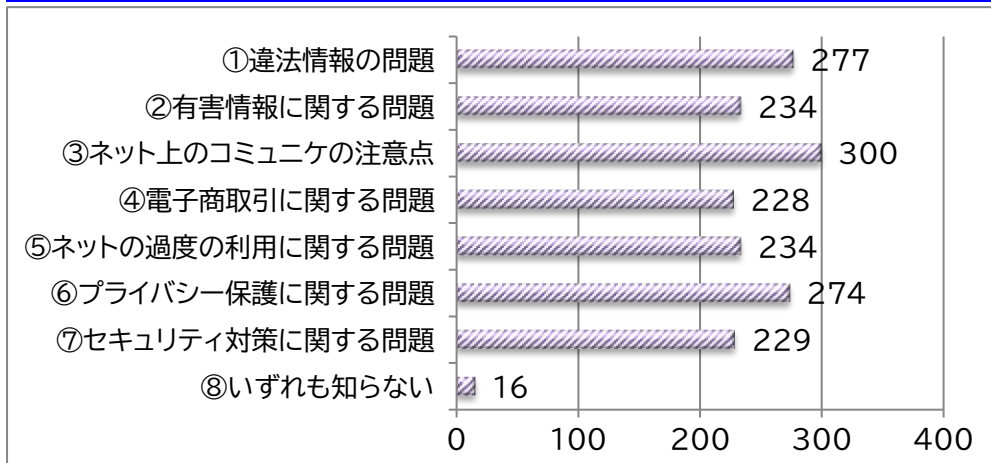
1. 子どものスマホ等の所有状況と所有し始めた時期



子どものスマホの所有状況は、「持っている」が約23%、「持っていない」が約77%でした。

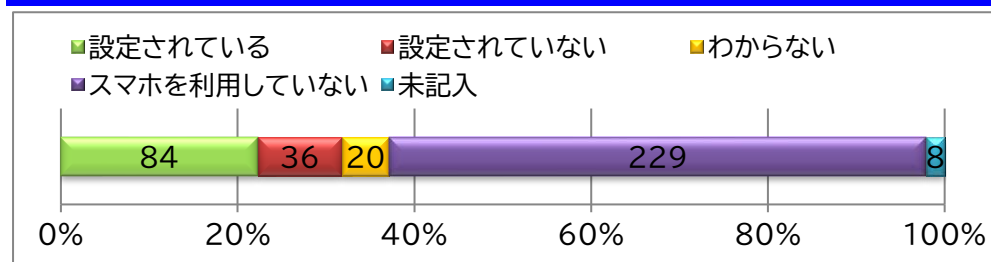
「スマホを持っている」と回答した約23%のうち、スマホを所有し始めた時期は、小学1年生が多く、小学校への入学がスマホを所有する機会になっているようです。

2. 保護者の安全安心なインターネット利用のための注意点の認知度(複数回答)



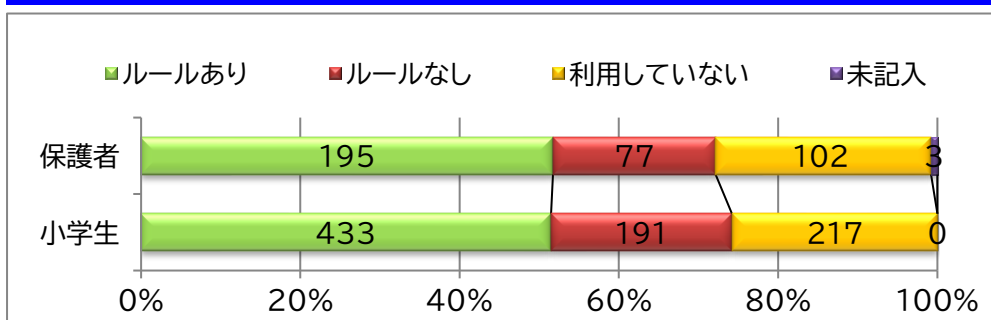
最も多い回答はネット上のコミュニケーションの注意点で、SNSトラブル等について関心度の高さが伺えます。また、いずれも知らないと回答された方は少なく、インターネット利用の注意点について意識されている状況が伺えます。

3. 子どものスマホ等のフィルタリングの状況



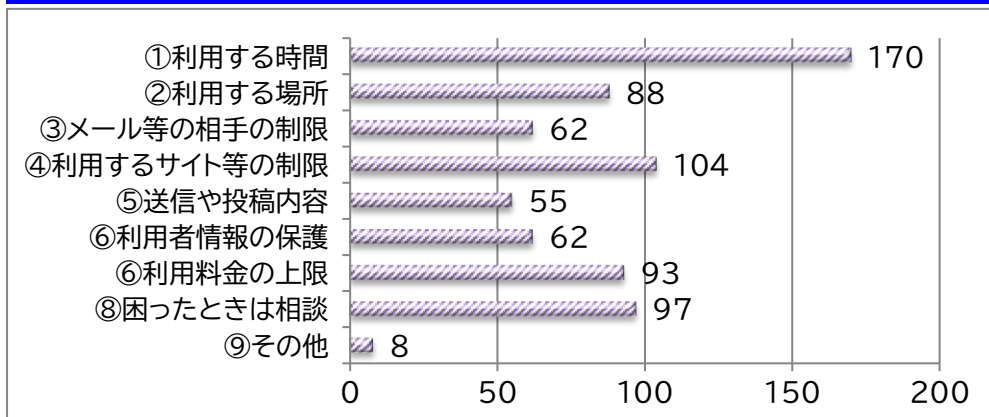
子どもがスマホ等を利用されている方のうち、60%はフィルタリングの設定がされていると回答された反面、約26%は設定されていないとの回答でした。

4. インターネット利用のルールの有無 (子どもと保護者の意識比較のため小学生データを追加)



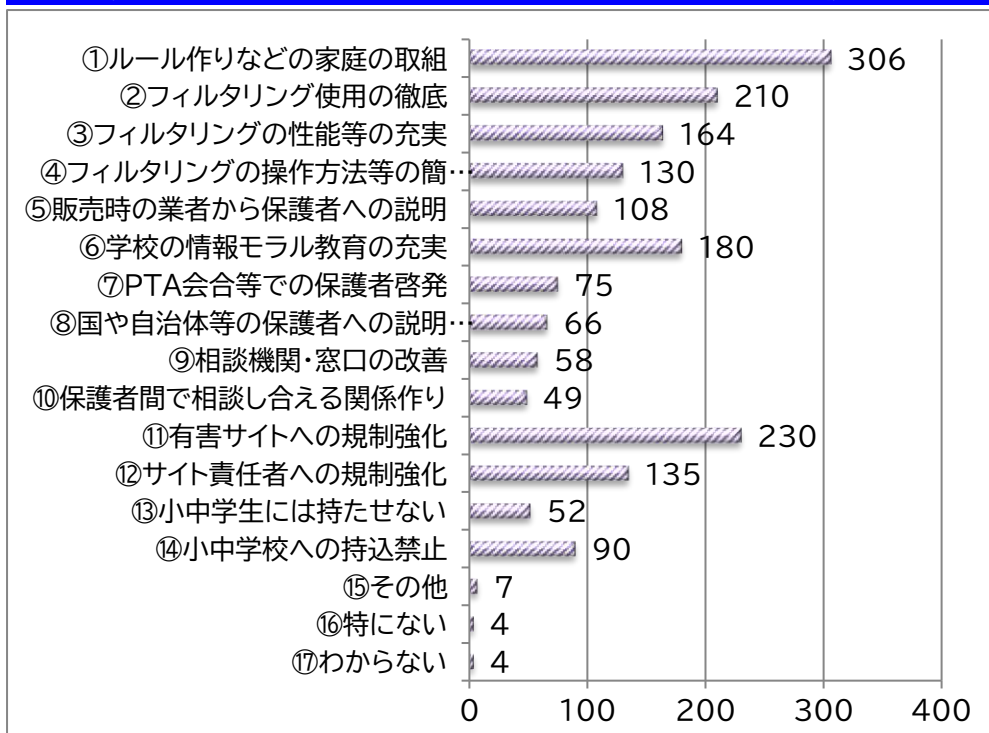
「利用していない」「未記入」を除くと、ルールなしの回答は保護者約28%、子ども約31%、ルールありの回答は保護者約72%、子ども約69%で、ほぼ同等でした。ルールの有無について同じように意識できているようです。

5. ルールの内容(複数回答)



ルールの内容については、利用する時間が突出して多く、「ルールがある」と回答された方の約 87%が時間に関するルールを取り決めているようです。また、その他の内容で多かったのは、「親が見ている前で利用する」でした。

6. 保護者が考える子どものインターネット利用に必要な取組(複数回答)



最も回答の多い「ルール作りなど家庭の取組」、3番目に多い「フィルタリング使用の徹底」はすぐにでも取り組める内容です。今一度、保護者と子どもでインターネット利用におけるルールについて話し合い、共通意識を持ちましょう。

もっと詳しい内容が
知りたい方はこちら



【まとめ】

- 小学生の約 23%はスマホを所有しているようです。(注:児童向けのアンケートでは約 26%)
- 中学生保護者のアンケートでは、小学生からスマホを所有していたのは約 17%で、そのうち所有時期は 6 年生からが最も多く、比較するとスマホ所有時期の低年齢化が進んでいるようです。
- 子ども所有のスマホのフィルタリング状況について「わからない」の回答が約 14%ありました。親として、フィルタリング以外でもスマホについて正しい知識を持つことが大切です。
- アンケート回答者の約8割がルール作りなど家庭での取組が必要と回答がありました。ルールを決めておられない場合や、これから購入を予定されている場合はこれを機に家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか。

SNSトラブルから子どもを守る合言葉

「とりのからあげ」

ともだちがきずつく事をしない
りよう時間を決めよう
のせない個人情報

かきんしない
らいん(LINE)は相手のことを考えて送信
あわない SNSで知り合った人
ゲームソフトの年齢制限を守る

啓発キャラクター
「からぼと」

